

兵道けんじニュース

発行者 公明党甲府市議会議員

2020. 春

兵道顕司

甲府市中村町 1 5 - 6

VOL. 2 5

TEL/FAX055-237-9529

ホームページもご覧ください

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/>

皆様方には日頃から温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。
今新型コロナウイルス感染症に人類をあげて立ち向かっています。

緊急事態宣言が出され、不要不急の外出を避けること、3つの密を避けること、マスクの着用、手洗いの励行など、ウィルスに「うつらない」「うつさない」という行動が求められています。

学校の休校、事業の自粛などかつて経験したことのない日常生活を余儀なくされています。

今こそ団結してウィルスに立ち向かい、終息宣言の時を迎えるまで先頭に立って働いて参ります。どうかよろしくをお願いします。



3月定例会から

(1) 洪水を想定した防災訓練の実施について提言しました。

昨年ハザードマップを改訂したこと、毎年のように全国各地で豪雨災害が発生していることを受け、地震想定との訓練と共に洪水を想定した訓練の実施について強く要請しました。

⇒今年度から訓練計画を見直して実施する との答弁をいただきました。
(議会だより205号にも掲載されています。)

(2) サードプレイスについて質問しました

家庭や学校以外でとびきり居心地のいい第3の場所としてのサードプレイスづくりについて、特に4月施行の子ども未来応援条例に規定されている、子どもの居場所づくりについて質しました。

⇒こうした居場所づくりに関わる個人や団体の情報交換、連携を図るためのネットワークの構築と子どもたちが気軽に立ち寄れる場として様々な世代との交流を可能にするサードプレイスにしていく。

(3) ひとり親家庭への支援について質問しました

これまで未婚のひとり親家庭については税制面の「寡婦(夫)控除」が認められていませんでしたが、昨年末の税制改正でようやく認められることになりました。税を基礎とした保育料や国民健康保険料の算定に当たってはみなし適用してきましたが、本市のこれまでの状況と制度の周知について質しました。

＜新型コロナウイルス感染症に関する取り組み＞

- 1 支援本部の立ち上げ（「甲府市議会における大規模災害発生時の対応要領」）
情報の収集及び要望の取りまとめの一元化⇒緊急事態での行政の停滞防止
- 2 臨時議会の開催、特別委員会設置の提案
5月1日から6月8日までを会期とし、この間に経済対策、生活支援策の提言を取りまとめる特別委員会の設置を主導⇒議会が自律的に政策を提言できるように
- 3 新型コロナウイルスをきっかけとする差別や偏見をなくし、最前線で働く方々への感謝の意を表すための議会発の「宣言」の提案
⇒3月定例会での「ソーシャルインクルージョン」理念の提言に基づく
- 4 特別定額給付金の給付の迅速化の要請
⇒国で定められた「オンライン申請方式」「郵便申請方式」のほかに申請書のダウンロードによる「ダウンロード申請方式」実施を委員会質疑で実現

（宣言案から）

ウィルスは何をもたらそうとしているのか。すでに多くの良識ある皆さんは気付いているに違いない。それは、社会の「分断」であり「混乱」である。

戦うべき相手はウィルスである。がしかし、いつの間にかその相手を見失い、人間同士が疑心暗鬼にかられ相互に争ってしまっている。実に悲しむべきことと言わなければならない・。

我々は今こそ輝かしい500年の歴史をもつ甲斐の国の誇り高い一員として、この新型ウィルスがもたらそうとしている分断と混乱を断固として打ち破るために、何があっても断じて負けない決意をもって全世界に向けて高らかに宣言していこうではないか。

- 1 未知のウィルスによる感染の恐怖と闘いながら、最前線で献身的に激闘していただいている医療従事者やエッセンシャルワーカーの皆さんとそのご家族に心から敬意と感謝を申し上げます
- 2 ウィルスをきっかけとするいわれなき偏見や差別はそれこそウィルスの思うつぼである。いまこそお互いに支え合い励まし合う絆を深めていこう
- 3 ウィルス終息後のふるさと甲府を一層希望溢れるものとするため、ともに今を乗り越えていこう